

# なきごえ



1978

9

大阪市  
天王寺動物園協会

# 動物と私

山本 鎮郎



私は昭和10年に神戸市役所に就職しました。ずっと事務畑を歩いて来ました。昭和30年5月市立王子動物園長になるまでは、動物とのつながりはなかったのです。

園長になった当時、天王寺動物園は寺内園長の時代で、大へん親切にご指導を頂き、お世話になりました。動物の世界は分らぬことが多く「何時も小学校1年生の気持で」とよくいわれました。「自分は40年間ペリカンの交尾は見たことがなかった。最近やっと見たのです」ともいっておられました。

上野動物園には古賀先生が園長をしておられ、上京する度に泊めて頂いたり、色々お世話になったものです。先生は何でもやって見ようとよくいわれました。何でも思いついたことはよし失敗しても、一ぺんはやって見る値打があるというわけです。

開園以来25年もたった王子動物園は、今でこそ内容もりっぱになりましたが、私が着任した昭和30年頃は、市は赤字財政で、動物も姫路の動物園より種類が少なく、100種類もない位でした。それで評判もあまりよくなかったのです。

又、当時は野生動物についての参考書はなく、古賀先生の著書や、北王名古屋市東山動物園長がかかれた“動物の四季”などをむさぼり読んだものです。

私は昭和41年5月定年まで11年間王子動物園長をしていたおかげで、日本動物園水族館協会の会友にして頂きました。定年退職後も、古賀先生のおすす

## なきごえ9月号目次

動物と私	2
“シロカケイのお目みえ”	3
動物園グラフ(サマースクール特集)	4・5
ヨーロッパの動物園みてあるき②	6・7
サマースクール(ボランティア感想記) 生徒の感想文	8・9
Keepers' eye ⑥	10
動物園ニュース	11

めで静岡市日本平動物園の建設に当りました。又、大分市高崎山世界鳥獣館の開設をも引受け、最近秋吉台サファリランドのオープンや、南紀白浜ワールドサファリのオープンに参画、現在ワールドサファリの園長をつとめております。

王子動物園長時代には色々愉快的思い出もありますが、一方苦い経験もあります。

クロサイが日本で初めて生まれたこと。(昭和38年11月16日)

チンパンジーの双子児が生まれたこと。(昭和39年8月7日)

そのほか特別天然記念物のニホンカモシカを森林植物園の放養場につれて来て繁殖に成功したこと等は愉快的思い出です。苦い経験はキリン舎や食堂の火事、そのほか大事な動物オランウータン等を死なせたこと等、枚挙にいとまがありません。

サファリ形式の動物園も今ではそう珍らしくなくなりました。これは広い敷地に猛獣や大型の動物を多数放し飼いにし、入園者は自動車にのりながら、歩かないで見てまわる形式の動物園ですが、色々批判もあり、問題もあります。

維持費が大へん高くつくこと。

ゆっくり観察ができないこと。

動物同志のトラブルも起り易いこと。

これらの欠点をなるべく少なくすることが今後の課題といえましょう。

又、野生動物がだんだん減って来て、輸入も難しくなる傾向ですが、輸入しなくてもすむ様に繁殖に努力することも大切かと思えます。

最初にもふれたように、野生動物のことになる、科学や技術の進んだ今日でも、まだ分らぬことが多いようです。その意味ではサファリ形式の動物園も、学術的研究、例えば比較生態学等の研究資料として充分存在する価値があると思われま

(南紀白浜ワールドサファリ園長)

写真：ワールドサファリの海獣シヤチ Orcinus orca

### 表紙の写真説明

“マレーバク”

マレー、ビルマ等に生息する、原始的な形態をしているこのバクは体の色は白と黒にきれいに分けられています。子供の時はイノシシの子供のような、しまもようをしています。

(撮影：大野 尊信)



### “シロカケイのお目みえ”

7月28日、4羽のシロカケイの寄贈を受けましたが、国際保護動物に指定されているこの珍しいキジの一種は、当園にも初のお目見えで、日本の動物園でも1羽しか飼育されていない非常に貴重な鳥です。(撮影：宮下 実)



# 動物園グラフ「サマースクール特集」

第4回サマースクール(7/21~7/31)も盛況のうちに終わりましたが、今回はそのサマースクールの内容を特集してみました。

(撮影：大野尊信、宮下 実)



① ボールパイソンはこうして抱けばこわくないよ。



② ワーッ、気持ちいいよ。



③ 僕にもさわらせてよ。



④ ヤッター!ヤッター!!



⑤ 自然史博物館での勉強



⑥ 動物の話を飼育係のおじさんに聞く



⑦ 研究発表、よくわかったかな



⑧ 修了書を園長からいただいて、暑い毎日ごころうさん

## 7・8月の動物園日記

- 7/9. ダマシカの仔が生まれました。ハナジカにも6頭目の仔ができました。
- 10. レアが産卵しましたが残念なことに破卵していました。
- 11. ハナジカに7頭目の仔が生まれました。
- 12. 先月から元気を失くしていたゴリラのゴロが治療の甲斐あってやっと元気を取り戻しました。
- 14. ハナジカに8頭目の仔が生まれました。
- 15. オオヅルが産卵しましたが、破卵していま

- した。
- 16. マゼランペンギンのメスが趾瘤症と栄養失調のため死亡しました。アジルテナガザルのオスが寄贈されました。
- 18. ゴリラのゴロが下痢をしているので薬を飲ませました。
- 21. 第4回のサマースクールが開講されました。
- 23. カムリクロザル1番の寄贈がありました。
- 24. 10月末完成予定のバードケージの地鎮祭が行なわれました。
- 28. シロカケイ4羽、エボシキジ4羽の寄贈がありました。

- 31. 第4回サマースクールが開講しました。
- 8/2. マゼランガン1番の寄贈がありました。ポリビアリスザルが産卵しました。去年に続いて2度目のおめでたです。
- 3. レアが産卵しましたので早速ふ卵器に入れました。
- 7. ハムスターが老衰のうえ肺炎を併発して死亡しました。
- 9. ライオンが2頭の仔を出産しました。チンパンジーのサクラが下痢をしていたので薬を飲ませました。

- 10. コミミズクが衰弱のため死亡しました。シマウマの♀が元気を失くしているため隔離して薬を飲ませました。
- 12. チンパンジーのサクラはすっかり元気になりました。
- 15. マレーバクが鼻汁を出しているため薬を飲ませました。
- 16. ハナジカに9頭目の仔が生まれました。マングローブスネークとインドシナネズミヘビが入園しました。

## ヨーロッパの動物園みてあるき ②

### §アントワープ → ロッテルダム

3時にロッテルダム行の国際列車に乗り、車内で少しウトウトと眠りました。オランダ国内に入ってもなく列車がとまり、検札に来た車掌さんがオランダ語で何かしゃべるのですがよく分らず、側の乗客がたどたどしい英語で教えてくれたところによると、この列車はロッテルダムへ行かないとのこと、不思議に思いながら皆の後に駅の外で待っていたバスに乗りました。なぜここでバスに乗り換えるのか、言葉の不便もあって半信半疑でしたが、バスで前に座ったアメリカ人の方が、鉄道の橋がこわれたためバスにふりかえたのだと説明してくれ、やっと納得しました。アントワープ動物園からロッテルダム動物園へ私のためにホテルの予約を頼んでいたため、動物園へ大急ぎで直行し、5時にやっと到着することができました。ここから職員の方の車でホテルまで案内して頂きました。

### §ロッテルダム動物園

翌5月25日、9時に動物園に到着し、受付の人の案内で園内にある大きなレストランに向かいました。丁度100人ほどの職員の人達が作業服を着たままでテーブルに座って、お茶を飲んだり雑談をしたりしていましたが、まもなく園長の話が始まり、朝のミーティングをしているのだと分かりました。このミーティング後、Dam園長にお会いし少し話を伺った後、生物学者のBoer博士を紹介して頂きました。彼の案内でまず研究所を見せてもらいましたが、動物園の中にこのような立派な研究施設があるのはうらやましい限りでした。彼は今、サルの染色体を研究しているとのこと、私も鳥類の染色体を少々手がけているため、いろいろと話をお聞きし、たくさん論文も頂きました。彼の案内で園内をまわることになりましたが、折悪く霧雨のまじる肌寒い日に入園者もまばらでした。途中、哺乳類課長のBlegenberg氏とお会いし、そこで囑託の獣医を紹介してもらいました。これだけ大きな動物園で囑託の獣医が1人というのも日本的な感覚からいえば不思議なことですが、ヨーロッパやアメリカの動物園は獣医は1人のところが多く、その代り生物学者や病理学者などの専門家をそろえています。反対に日本ではそのような専門家を置いている動物園はなく、獣医が肩代りしている状態です。天王寺にも園長以下8名の獣医がおり、訪問したヨ



ボンテボックスの母仔

ヨーロッパの各動物園で、当園には私も入れて8人の獣医がいるということ、必ず「Eight?、本当に8人?」と何度も聞きかえされ、本当に8人もいると知ると皆が皆、驚きの表情で「君のいる動物園はそんなに大きなところなのか」ときかれるのが常で、日本の動物園における獣医の仕事の多様性を説明するのにほとんど困りました。

哺乳類課長の後に従って囑託獣医がネコ科の新着動物にワクチンを接種するのを見学しましたが、この動物園はネコ科のコレクションで有名で、ジャガランディ、サーバル、リンクス、アジアゴールデンキャットなど37種ものネコ科の動物をそろえています。ただ収容場所は狭く薄暗い場所で金網も細かく、動物を非常に見づらい感じがします。

類人猿舎は天井が非常に高く、ガラスと鉄格子の二重張り、36才のオランウータンや24才のゴリラ

など長い飼育歴を誇る動物もあり、特にオランウータンは11頭もあり繁殖も順調とのことでした。タゲガミオオカミは2つがい飼育されており、繁殖もされているとのことでしたが、運動場は簡単な針金格子で高さも2mたらずの柵で、ジャンプして飛び出さないのか心配になったほどです。

オカビは7頭もあり繁殖も良好とのこと、担当の係員は非常に扱われているといった感じで、オカビとキスをするとところまで見せてくれました。昼にはBlegenberg氏、Boer博士、それに鳥類課長のAssink氏と園長秘書の方も加わって盛大な昼食会を開いて頂きました。この昼食会では私の質問よりも相手は4人いるため、反対に質問せめにあってしまいました。私もヨーロッパに来て驚かされたことは多いのですが、今回は私の答えに相手方はびっくりされたようで、日本には65も動物園があり(オランダには13園)、天王寺には年間300万人もの入場者があり(ロッテルダムは100万人)……やはりヨーロッパから見れば日本は東洋の未知の国なのではないでしょうか。

昼食後、Assink氏の案内でキーウィを見せてもらいました。このキーウィも天王寺と同じように、万国博覧会の際にニュージーランド政府から贈られたもので、当園と同じように昼間は入場者にはめったに見られないとのことでしたが、担当の係員の方がわざわざキーウィを巣穴から出してくださったので見学することができました。当園ではミミズ、ドジョウを主として与えています、ここでは特別メニューをこしらえて、牛の心臓の細切り、オートミ



タゲガミオオカミ

ール、大豆油、小麦胚芽を与えており、お互いのキーウィの飼育記録の交換を約束しました。最後に園長秘書の方からポスター、ガイドブックなどたくさん資料をいただき、ロッテルダム動物園を後にしました。

### §ロッテルダム → アムステルダム

ロッテルダム駅まで車で送っていただいて、4時前の列車に乗り、約1時間でアムステルダムに到着、駅から市内電車に乗りアムステルダム動物園前で降りました。ロッテルダム動物園の秘書の方が予約してくださったホテルは動物園の真向いにあり、日本の動物園から来たと言うと非常に歓迎してくれました。このホテルはヨーロッパで泊ったホテルの中でも一番安く、朝食付約3000円でしたが、こぎれいなホテルでした。翌5月26日、非常に眠りたいた感じで7時半に起き、朝食後、動物園へ向かいました。

### §アムステルダム動物園

9時に動物園の事務所を訪れると生物学者のDekker氏がガイドブックを持って現われ、会議があるとのことなので1人で園内をまわることになりました。猛獣舎、サル舎など以外には人止柵がないため、非常にすっきりした感じがします。動物のネームプレートは絵入りが多いのですが、全くちがう種類に見えるほどその動物に似つかない色で描かれており、せつかくの絵入りのネームプレートも効果は半減でした。

1908年に建てられた鳥類館は内部は明るく見やすく設計されており、その展示のうまさには感心しました。昼前に囑託のErken獣医とお会いし、彼が今からエラ



鳥類館の内部

ンドにツベルクリン注射をするというので見学させていただきました。4頭のエランドを次々に麻酔銃で眠らせ首のところに接種。ここで使用した麻酔薬はモルヒネの200倍の鎮痛作用があるM99という薬で、ゾウでも簡単に眠らせることのできる薬ですが、日本では残念ながらまだ使用が禁止されており、この薬効のすばらしさをまのあたりにして、日本でも早く使用できたらと思



タスマニアデビル

いました。朝食は園内のレストランでDekker氏とErken獣医と共にし、いろいろな情報を交換しました。この園では60人の飼育係員がおり、その内女性の係員は1人とのこと

でした。昼食後、見学を再開しましたが、チューリップの本場オランダだけあって、動物舎の周囲には芝生帯とチューリップ花壇が美しく調和されており、動物園での花と緑の必要性を痛感しました。

ハ虫類館は外から見るとガラス張りの温室のようなしゃれた建物で、内部は植物や凝岩を巧みに配し、明るく見やすく設計されていました。この動物園は面積10haと天王寺と同じ面積ですが、650種もの動物を飼育しており、オジロヌーやオナガー、ハーテビースト、シャモアなど珍しい動物もいましたが、無柵放養式は少なく、いかにも都市動物園といったところでした。この夜行性動物館はロンドンやアントワープで見たように真暗にはしてなく、ガラス張りの屋根を通して自然光を取り入れ、その明るさのもとでフェネック、シママンダース、フタユビナマケモノなどが動きまわっているのをよく観察することができました。

5時前、Dekker氏にいろいろな疑問点をおたずねし、園内見学の満足感と充実感にひたりながら、動物園を後にしました。(つづく)



シロトキを始め、いろいろナトキが繁殖していました。

(飼育課:宮下 実)



## 第4回サマースクール・ボランティア感想記

宮崎尚美

今年も天王寺動物園で、恒例のサマースクールが実施された。私もボランティアとして初めて参加させていただいたのだが、実の所、あんなに大変な事だとは思ってもしなかった。内容としては何の事はない夏休みを利用して、動物を研究する、事だが、遊びたいさかりの腕白坊主の関心を、ウルトラマンやキャプテン=ハーロックからオオカミ、キツネ、タヌキ（我班の場合）に持ってこさせるという事がまず第一の難関だった。それをやると突破したと思った頃は時すでに遅し。研究発表の模造紙との格闘の火ぶたが朝から切って落とされてきてこ舞いの大忙し。結局肝心の動物はほとんど見る事ができず、私達ボランティアにとっても満足のいく指導(?)ができなかったように思う。

それにしても今回強く感じたのは、子供達の自主性と協調性の無さである。私達も完全無欠ではないのだから、言えた義理ではないかも知れないが、子供達7人と私達4人が揃ってオオカミのオリの前に来たとする。私達が説明を始めると、3人はさも大切そうに胸に抱いて来たノートと鉛筆を出して細大漏らさず、恐るべきスピードで筆記していく。他の3人はといえば、そこらへんをハツカネズミ顔負けにちょこまか走り回って迷子になるか、私達に「ねぇ、ヘビ見に行こうよ。ボク、ペンギンがええな。あそこはクーラーきいてるからな。なぁ、はよ行こうよ」と駄々をこねるか、二つの内いずれかである……。と、ここまで読んでいらしゃった方の内、注意深い方はお気付きだと思うが、我班には実はもう1人今までのべたのとは全く違った反応パターンを示す男の子がいた。彼は確かに俗にいう「イタズラ坊主」であった。が、説明を聞くべき時はちゃんと聞き、動物を真剣に観察し、それについて思わずこちらがドキリとするような質問を投げかけて来る

子であった。彼の質問のおかげで、何度私達は赤面し、アニマルライフのコピーのページを繰ったことか……。でも一番最後にみんなが言った。「彼（私達はその男の子を「彼」と呼んでいた）みたいな子ばかりだとやりがいがあるのね…」「まったく…」「しかし、どうしてあれだけ私達の言う事、聞いてくれなかったのかしら、彼ら…」「自然史博物館の時なんてヒドいもんだったよね…」

事実、自然史博物館で行われた一日目は、我班は目もあてられなかった。7人が7人共見事にバラバラになって、あっちの方で「うわ〜っ、おっきいミミズ!!」と叫んでるかと思うと、こっちでは「ヤッターマン」の歌を歌ってる。女の子達は借りて来た猫のように黙りこくって一言も話をしてくれない。私達4人は途方にくれてしまってロビーにみんなを集める事に躍起になっている。なにしろ、彼らが迷惑になろうと階段から落ちてケガをしようと全責任は私達のかよわい(?)肩にかかっているのだから、片時も目を離す事ができない。離せば必ず、どこかで小さな事件が起きている。もっとも、恐竜の骨組みをブッコわすようなハデな事はしてくれないが、(そんな事してくれたら泣きますわ!!) 陳列ケースのガラスにペタリ大きな手の型をつけてきたり、パンフレットか何かを丸めたボールで野球をしたりである。

美術部に所属する手前、私はよく動物園に出かける。その度に母がこうぼやく。「いい年して動物園なんか行って、絵かくんならもっといい景色の所へ行ったらいいのに……。なんで動物園なんか行くの?」答えていわく、「そこに動物がいるからだ」私はエベレスト登山をしたようなさわやかな気分でドアを開け、キャンバスを抱えてさっそうと歩き出すのである。(天王寺動物園ボランティアズ会員)

## サマースクール感想文より

第4回サマースクールも無事終了しましたが、参加した生徒たちの感想文の中から2編を御紹介したいと思います。

### 感想文

僕が、サマースクールに行ったきっかけは、お母さんが、新聞の広告を見て、サマースクールの募集があったのを、僕に、教えてくれたからだ。そして、29日、自然史博物館へ行った。それから、班で、頭がい骨の絵を書くことになったので、ぼくらの班は、犬、キツネ、タヌキの絵を書いた。次は、展示室を見学したが、中でも、一番びっくりしたのは、体長50cm~60cmにもおよぶミミズだった。見学が終って、家に帰ることになって、その日のサマースクールが終った。この一日で、次のことがわかった。犬やキツネの歯の構造が同じで、前歯は小さく、犬歯は大きくとがっていた。二日目、天王寺動物園に集合して、少し話をし、動物園を見学した。最初は、南園の猿アパートへ行き、いろいろなことを学んだ。次に、北園の、ゴリラの宿舎へ行き、ここでも、いろいろなことを学んだ。猿、ゴリラについて学んだことは、ほとんど、陸上生活している猿は、犬のように、鼻と口が前に出ているが、大部分を木でくらすしている猿はそんなに出ていないことと、ゴリラが歩く時、指をまげて、歩き、すごく、神経質だと言

### 天王寺動物園 サマースクールの感想文

私は、こんな、サマースクールは、はじめてです。いきいたいなぁ、とは、思っていたのですがなかなか、行くきかひがありませんでした。

でも、私は、どこかに、遊びに行くよりおもしろいです。

それに、いろいろな、わからなかったことを、おしえてもらい楽しい三日間でした。

私は、三日間だけなら、少し少なすぎるので、せめて、5日~7日ぐらいにしてもらいたいです。

私に、とって、一番ざん念なのは、もうこれ以上、いけないことです。サマースクールは、4年~6年までだからです。

私は、もう一度、6年にもとって、来年のサマー

大和田小学校6年3組 玉井茂

うことである。それから、ファミリー広場で、昼食をすることにした。昼食がすんで、オオカミ、ハイエナ、キツネ、タヌキの仲間にいる動物舎へ行って、今まで知らなかったいろいろなことを学んだ。二日目の結果は次のようであった。タヌキは夜行性、ハイエナは、あごの力が強く後足が弱いこと、それから、クロオオカミは、体の色が黒一色で、オオカミの中ではめずらしいこと。キツネは、体より、尾が長いことである。三日目、今日は、各班の研究発表なので、もう一度、オオカミ、ハイエナ、キツネ、タヌキの動物舎を見学した。見学が終って、集合場所へ帰って、オオカミ、ハイエナ、キツネ、タヌキについてまとめた。まとめが終ると、1班~10班まで、発表した。発表が終ると、少しばかり話をし、各班の代表者が表彰状を持って、班の子にくばって、みんなくばり終わると、荷物を持って、家に帰った。僕が、サマースクールに入って、勉強になったことは、どんな動物でも、みんな好きになったことだ。

僕は、一生懸命勉強して、将来、動物たちといっしょに仕事をしようと思った。

堺市立登美丘東小学校6年 宮元明美

スクールに、行きたいと思います。おねえさん、おにいさん、お友だちと、おしゃべりしたり、勉強したりして、とても、たのしい三日間でした。でも、その中で、一番よかったのは、二日目の、トラを、さわるときです。とても、はじめは、こわくて、さわれなかったけど、さわってみると、とても、気持ちのいいものでした。とても、はくりよくがあって、おもしろかったです。

この三日間は、夏休みの、いい思い出にしたいと思います。

サマースクールで、おそわったことを、ちゃんと、整理して、二学期に、宿題として、はっぴょうするようにしたいと思います。



## キーパーズ・アイ Keepers' Eye ⑥

### ☆ハムレットの心境

担当している動物が、出産した時は、飼育係にとってとてもうれしい事です。しかしその後、飼育係には、ハムレットの心境が、大きいのしかかかります。特に肉食獣や、雑食獣の動物の場合、母親が出産の後、神経質になって、うっかり様子を見ようとすると、子供を食べてしまったり、子供を育てな



母親に育てられるハナグマの仔

くなったりする事があるのです。そのために、母親を落ちつかせるために、産室を暗くして、そっとし

### ☆消えた卵 (完結編)

さて、6月号では疑問としていた消えた卵の犯人をついにつかまえる事に成功した。

6月27日午後3時、私はフラミンゴの観察の為にフラミンゴ池に近づくとフラミンゴ達は池の端に寄りかかっているのではないかと私は悪い予感がして池の前まで急ぐと、そこには何という有様か。想像はし



卵のみこもうとする青大将

ていたもののまさかと思う事が現実になった。1m 50cm 足らずの青大将が卵のみこもうとしているのではないかと。急いであたりを見まわすとカバ担当の丸本氏が通りがかった。すぐに大声で呼び止め、急いで犯人取り押えの作戦を練った。作戦は右と左側からそっと近づく事に決まった。

ておくのですが、子供の生死を確認するには、子供のなき声よりほかに手だてはないのです。でも、



人工哺育中のアライグマ

子供が、なき声を出さないと、死んでしまったのかなど不安になり、逆に、なき声ばかり出していると、母親が、ミルクをやっていないのかと心配するのです。こんな時は、まさに、ハムレットの心境で、「母親にまかせるべきか、人工で育てるべきか……それが問題だ」と。

(農本 武志)

フラミンゴ池の裏側左右から近づき、私はヘビの首を捕えた。卵をすでになかばのみ込もうとしている。



こんな小さな青大将がこんな大きな卵をのみこむなんて!!

(青大将は卵をのみこむのに全神経を集中していたので二人の近づくのに気が付かなかったのか?) 幸いにも卵は破損していなかったので卵をもとの巣へ返しておいた。フラミンゴはもう卵を抱かないだろうと思っていた所、夕刻ごろには何もなかったかの様に卵を抱いているではないか。この様な逆境にもめげず母の卵を思う心は何と素晴らしいものか。

もしやと思う期待も空しくヒナの姿も見ぬまま孵(孵)らぬ卵となってしまったのだ。

この悪い教訓を二度とくり返さない様にこの文を書く。

(村田 行雄)

## 動物園ニュース

をドジョウ、オキアミの餌で育てています。

### ☆寄付動物



シロカケイ

4種類の珍しい動物の寄贈がありましたので御紹介します。7月23日にカムリクロザル1番い(共に3才)、7月28日にシロカケイ(オス1羽、メス3羽)、エボシキジ4羽、



マゼランガン

8月2日にマゼランガン1番いの寄贈がありました。シロカケイ、エボシキジは国際保護動物にも指定されている貴重なキジで、

### ☆リスザルの出産



8月2日、ポリビアルリスザルが出産しました。母親の背中に必死でしがみついている赤ちゃんは、日、一日と成長しており、母仔共に経過は順調です。このポリビアルリスザルは一昨年も1頭出産しており、日本の動物園で初めての繁殖成功ということで、昨年、繁殖賞

を受賞しています。

### ☆ライオンの人工哺育

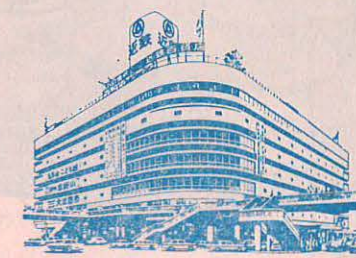
8月9日、ライオンのユキが2頭出産しましたが、母乳の量が少なかったのか、10日目より衰弱が目立ち始めたため、人工哺育にきりかえました。1頭は残



# 夢が広がるショッピング... 近鉄がお届けします



上本町店 (06) 779-1231



アベノ店 (06) 624-1111



奈良店 (0742) 33-1111

## 近鉄百貨店



# キーパーズ・アイ Keepers' Eye ⑥

## ☆ハムレットの心境

担当している動物が、出産した時は、飼育係にとってとてもうれしい事です。しかしその後、飼育係には、ハムレットの心境が、大きくのしかかってきます。特に肉食獣や、雑食獣の動物の場合、母親が出産の後、神経質になって、うっかり様子を見ようとすると、子供を食べてしまったり、子供を育てな



母親に育てられるハナグマの仔

くなったりする事があるのです。そのために、母親を落ちつかせるために、産室を暗くして、そっとし

ておくのですが、子供の生死を確認するには、子供のなき声よりほかに手だてはないのです。でも、



人工哺育中のアライグマ

子供が、なき声を出さないと、死んでしまったのかなど不安になり、逆に、なき声ばかり出していると、母親が、ミルクをやっていないのかと心配するので、こんな時は、まさに、ハムレットの心境で、「母親にまかせるべきか、人工で育てるべきか……それが問題だ」と。

(農本 武志)

# 動物園ニュース

をドジョウ、オキアミの餌で育てています。

## ☆寄付動物



シロカケイ

4種類の珍しい動物の寄贈がありましたので御紹介します。7月23日にカンムリクロザル1番い(共

に3才)、7月28日にシロカケイ(オス1羽、メス3

羽)、エボシ

キジ4羽、

8月2日に

マゼランガ

ン1番いの

寄贈があり

ました。シ

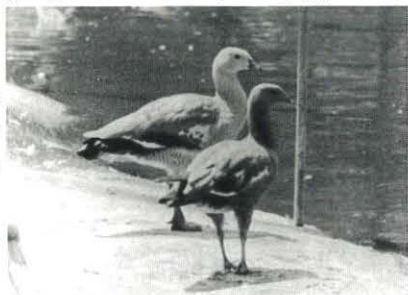
ロカケイ、

エボシキジ

は国際保護動物にも指定されている貴重なキジで、

日本の動物園でも飼育数は非常に少なく、当園にも初

のお目見得です。



マゼランガン

## ☆リスザルの出産



8月2日、ボリビアリスザルが出産しました。母親の背中に必死でしがみついている赤ちゃんは、日、一日と成長しており、母仔共、経過は順調です。このボリビアリスザルは一昨年も1頭出産しており、日本の動物園で初めての繁殖成功ということで、昨年、繁殖賞

を受賞しています。

## ☆ライオンの人工哺育

8月9日、ライオンのユキが2頭出産しましたが、母乳の量が少なかったのか、10日目より衰弱が目立ち始めたため、人工哺育にきりかえました。1頭は残念ながら激しい衰弱のため死亡しましたが、残る1頭は人工乳を飲んで元気一杯に育っています。



## ☆レアの産卵

7月31日、8月3日、9日、14日とレアが1卵ずつ計4卵産卵しました。第1卵は惜しくも破卵していましたが残る3卵は現在ふ卵器に入れて、あたためています。順調にいけば10月初め頃にかわいいヒナがかえることでしょう。

## ☆ショウジョウトキのふ化、人工育雛

7月2日と5日にショウジョウトキが産卵し抱卵していましたが、折悪く、このショウジョウトキの小水禽舎の拡張工事が始まっていたため、途中からふ卵器に移しました。8月22日、24日とそれぞれうまくふ化しましたが1羽はうまく育たず、残る1羽



## ●エミュウばあさん、大往生

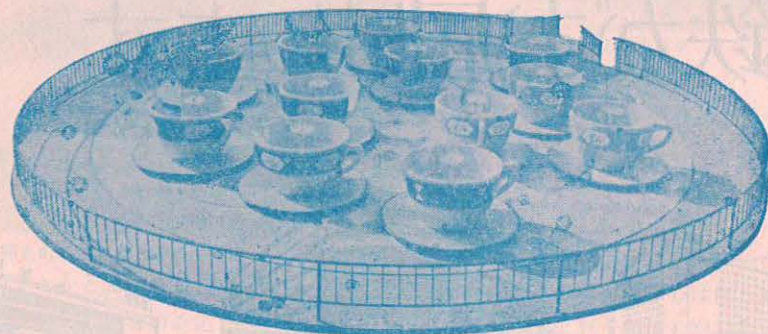
当園最長寿のエミュウが8月29日朝、死亡しました。昭和11年に入園以来、戦前、戦中の困難な時期ものりこえ、当園唯一の戦前派として走鳥舎の一角で威風堂々としていたのですが、人間になおせば100才をこえる高令に加え、



ありし日のエミュウ

老人性白内障などによる両眼失明もあって、最近では体力の衰えが目立っていました。遺体は解剖後、はく製にして保存する予定です。

# 遊園施設委託経営・製作・販売



## 久竹 娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江御池通2-100

電話 大阪(06)541-3112・3938 番



なきごえ 昭和53年9月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

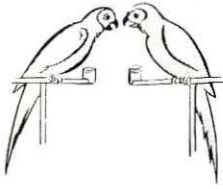
第14巻第9号(通巻157号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

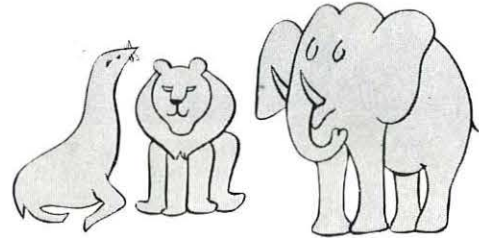
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種 | 枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員 <板野 健一・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・中川 道朗・高橋 真三・農本 武志>  
<石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・葭谷 文彦・仲谷 登>